

メゲル 乾ルカ



五人の若者を通して

描かれるのは、

さまざまな感情を

揺り動かす

人間ドラマと

小さな奇蹟の物語。

ブレイク必至、最注目の新鋭が
人生を慈しむような物語を描き上げる。

愛すべき傑作、登場。



乾ルカ 2006年、短編「夏光」で第86回オール読物新人賞を受賞し、翌年に受賞作を収録した作品集『夏光』で単行本デビューする。

『プロメテウスの涙』では初めて長編の執筆にも挑んだ。さまざまな技巧を駆使しながら、人生を慈しむような人間ドラマを鮮やかに描き上げる、いま最も注目される気鋭のひとり。

東京創元社